

研究調査運営委員会レポート

◆調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募◆

委員会名 【技術委員会】	ナノスケールサーボのための制御応用技術 協同研究委員会 【産業計測制御技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等
設置期間	平成 22 年 5 月～平成 24 年 4 月		本委員会では、ナノスケールサーボ (ナノメートルの精度で超高速かつ超 高精度に位置決めを行なう技術と定義) の制御技術を網羅的に調査すると同時 に、応用可能な制御理論などの方法論や 産業機器に対する技術展開を明らかに していきます。
委員長名(所属)	岩崎 誠(名古屋工業大学)		
委員会開催頻度	5回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)	伊藤 和晃(豊田工業高等専門学校)	
	電話	0565-36-5848	
	FAX	0565-36-5848	
	E-mail アドレス	kazu-it(at)toyota-ct.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	ナノスケールサーボに関する制御系設計者、機 構設計者、および潤滑油の専門家		
応募締切	平成 23 年 5 月 31 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担			1,500 円/年

委員会名 【技術委員会】	人間支援モーションコントロールに関する 協同研究委員会 【産業計測制御技術委員会】		委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等
設置期間	平成 22 年 7 月～平成 24 年 6 月		人間支援を主眼としてモーションコ ントロールに関する基盤技術から先進 応用技術まで幅広く研究開発の動向、進 展を調査します。実際の、具体的な事例 を中心にして現状を考察し、今後を展望 します。様々な分野や立場からのご参加 をお待ち致します。
委員長名(所属)	南方 英明(千葉工業大学)		
委員会開催頻度	6回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)	南方 英明(千葉工業大学)	
	電話	047-478-0369	
	FAX	047-478-0299	
	E-mail アドレス	H.Minakata(at)gmail.com	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	人間・機械複合システムやモーションコント ロールに関する技術・開発に経験や関心の強い方		
応募締切	平成 23 年 5 月 31 日		
協同研究委員会の場合の委員の負担			0 円/年

委員会名 【技術委員会】	ビル・工場電気設備の安全・安心環境構築 調査専門委員会 【生産設備管理技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等	
設置期間	平成 22 年 10 月～平成 24 年 9 月	ビルや工場内にある電気設備の不具合が原因で、障害や災害が発生することがある。この種の障害や災害を防止するには、ビルシステム、工場システムとして障害や災害の防止対策を講じる必要がある。 本委員会は、電気設備設計に指針を与えることを目的として実施する。 (感電災害、爆発・火災、各種の検討不足、電源喪失、波及災害・二次災害、災害復旧時処理、保全・保守)	
委員長名(所属)	市川 紀充(工学院大学)		
委員会開催頻度	6回/年		
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名(所属)		市川 紀充(工学院大学)
	電話		042-628-4692
	FAX	042-628-4692	
	E-mail アドレス	ichikawa(at)cc.kogakuin.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野、経験など	電気安全、電力系統、高電圧工学、電気機器、 制御、リスク管理、安全工学、労働安全等		
応募締切	平成 23 年 5 月 31 日		

編集後記

月日の経つのは早いもので、今年も残り2ヶ月となりました。今年の暑い夏は影を潜め、憎らしく感じていたパソコンや測定器が放出する熱の温度が、嬉しく感じる季節になってきました。

さて今月号の巻頭言は、研究調査運営委員会の竹下隆晴委員長(名古屋工業大学)に「研究調査運営委員会における改革」と題してご執筆いただきました。研究調査運営委員会の部門として扱う技術分野および技術委員会構成の見直しについて紹介されました。産業界の動向に対応した、大きな組織の変更の経緯を、非常に分かりやすく説明して頂きました。

資料コーナーでは、「世界最高性能のサブミリ波(テラヘルツ波)受信機の実現 —ALMA 望遠鏡—」と題して、チリ共和国の

北部にあるアタカマ砂漠で建設中の地上電波望遠鏡について東芝三菱電機産業システムのルベン・インスンサ氏に紹介して頂きました。望遠鏡の完成、そして宇宙の謎が明らかになる日が待ち遠しいです。

さらに平成23年度の産業応用部門大会予告、国際会議情報調査専門委員会および協同研究委員会の委員の公募、最近発行の電気学会技術報告についても掲載しております。委員の公募については協同研究委員会から2件、調査専門委員会から1件が公募されております。ぜひご確認ください。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、原稿をご執筆いただきました皆様、ならびに編集作業に携わっていただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

エディタ 菱川 真吾(日立メディコ)

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えてください。